

宮城学院創立 130 周年

記念礼拝・記念講演・記念茶話会 開催

9月17日（土）、桜ヶ丘キャンパスで「宮城学院創立 130 周年記念礼拝・記念講演・記念茶話会」が行われました。会場には、来賓・招待客・同窓生・中高生などが一堂に会し、創立 130 周年を共に祝いました。

記念礼拝

中高講堂を会場に開催された記念礼拝。嶋田順好学院長の説教をはじめ、高校ハンドベル班がハンドベルの演奏を、大学音楽科の学生や中高聖歌隊が賛美を、それぞれ披露。記念礼拝にふさわしい厳かな雰囲気の中で、執り行われました。



記念講演

記念礼拝に続いて、淀川キリスト教病院理事長・前金城学院学院長の柏木哲夫先生による記念講演が行われました。演題は「支える、寄りそう、背負う」で、ホスピスケアの先駆者である柏木先生ならではの講演内容に、参加者は熱心に聞き入っていました。



記念茶話会

会場を中高講堂から、大学の小ホールに移して行われた記念茶話会。小林信夫理事長のあいさつ、来賓の方々による祝辞に続いて、音楽リエゾンセンターの認定演奏員が見事な歌声を披露しました。その後は、130周年を記念し新たに完成した宮城学院紹介映像の披露、参加者による校歌斉唱などが行われ、多くの笑顔に包まれながらフィナーレを迎えました。



「プールボー記念碑」が完成 除幕式が行われました



宮城女学校の初代校長である E・R・プールボーの記念碑が完成。9月13日（火）、除幕式が行われました。場所は「建学の泉」のわきで、宮城学院の新たなシンボルが誕生しました。

